



vol.182 2008年11月号
編集・発行
社団法人
日本プロテニス協会
広報・企画推進委員会

〒108-0074
東京都港区高輪3-24-16 ISAビル 3F
TEL: 03(5791)1965
FAX: 03(5791)1966
E-mail: kyokai@jpta.or.jp
URL: http://www.jpta.or.jp





2008.9.30 コンベンションパーティー

CONTENTS

◆ 2008コンベンション	1~2
◆ コンベンション報告 基調講演	3~4
◆ コンベンション報告 オンコートセミナー	5~6
◆ JPTA能登国際女子報告	7
◆ JPTA大阪国際報告	8
◆ JPTA札幌国際報告	9
◆ 第3回ジュニア育成報告	10~11
◆ NGTジュニアスカウトキャラバン 地区大会結果 / 小学生中学生トーナメント 地区大会結果	12~13
◆ 資質向上セミナー関西報告	14~18
◆ 資質向上セミナー関東報告 / 神奈川地区セミナー開催案内	19
◆ アカデミー募集 / 新入会員挨拶	20
◆ BSボール発注日について / 平成21年度 年会費分割支払い(リボ払)制度のご案内	21
◆ 休会・退会手続きについて / 事務局だより	22
◆ 会員諸変更届	23
◆ 公認企業・推薦企業・賛助企業一覧	24

2008コンベンション



広報・企画推進委員会委員長
コンベンション実行委員長
安川 裕也

2008年度のコンベンションは、東京の有明テニスの森公園で開催となりました。

開催場所を東京とした理由は、交通の便から全国の会員の皆様が集まりやすいこと、コンベンションの日程である9月30日、10月1日は、まさにこの有明テニスの森で、日本で最高峰の大会であるジャパンオープンが開催されていることから、トップレベルのテニス観戦と、JPTAのコンベンションを絡めて開催すれば、より皆様に喜んで頂けるのではないかと考えたからです。



初日はテニスコートを開放し、自由にテニスを楽しんで頂くことになっておりましたが、朝からあいにくの雨模様となりました。午後からは基調講演が開かれ、講師にはナショナルチームゼネラルマネージャーの小浦武志氏、フェドカップ監督の植田実氏、ジュニアデビスカップ監督の村上武資氏の3名をお招きし「世界のテニスの流れと、一コーチとして出来ること」をテーマに語って頂きました。会員の皆様は、テニス

コーチとして、常に世界のテニスの情報や流れには敏感ではあるかと思いますが、知識の再確認と供に、新たに得られた情報もたくさんあったのではないのでしょうか。

2008コンベンション

夕方からのパーティーには、急遽、プレーヤー会員の寺地貴弘プロ、井藤祐一プロ、三橋淳プロが参加下さいました。渡辺理事長の挨拶から始まり、会員の皆様は和やかな雰囲気でご歓談されていました。また、今年度JPTA大阪国際オープンテニス大会で優勝した三橋プロには、この大阪大会での感想、JPTAへの想いを語って頂き、JPTAは多くの選手の為に、益々努力し、より良い大会を作っていかなければならないと再認識しました。パーティー終了後は、各々が集まり、飲んで語り、楽しい一時を過ごされたようです。

翌日のオンコートセミナーも、曇り空…。時々小雨が降るあいにくの天候の中、ジュニアデビスカップ監督の村上武資氏が、ナショナルチームのジュニアを実際にお手本として、わかり易く解説してくださいまし

た。会員の皆様も途中からジュニアと一緒にプレーし、実際に体験することで、より内容が充実したものとなったことと思います。

参加された会員の皆様には、コンベンションも、また錦織プロが活躍したジャパンオープンも大いに楽しむことができたのではないかと感じています。

末筆となりましたが、コンベンション開催に当たり、ご協力頂きました関連企業の皆様、会員の皆様に心よりお礼申し上げます。有難うございました。また、この度は開催要項の連絡が遅れてしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。



JPTAコンベンション 基調講演

「世界のテニスの流れと、コーチとして出来ること」

講 師／

日本テニス協会常務理事／強化本部長／ナショナルチーム・ゼネラルマネージャー

小浦 武志 氏

日本テニス協会ナショナルチーム・フェドカップ代表監督

植田 実 氏

日本テニス協会ナショナルチーム・ジュニアデビスカップチーム監督

村上 武資 氏



記録・作成／

JPTAテニスアカデミー

池城 昌史

9月30日(月)、JPTAコンベンションの会場である東京ベイ有明ワシントンホテルに、日本を代表する指導者である、小浦武志氏、植田実氏、村上武資氏の3名をお招きし、「世界のテニスの流れと、コーチとして出来ること」をテーマにお話を伺いました。

まず始めに小浦氏より、ここ数年で改変した日本テニス協会の組織(詳しくはJTAホームページをご覧ください)について説明がありました。

昨年4月より強化本部の人事を大幅に変え、ナショナルとはどういうところかということから考え直した結果、将来に向け日本に数多くあるテニス団体、地域協会が一丸となることを理念に掲げられました。そして、グランドスラムを頂点に、その下にデビスカップ・フェドカップとオリンピック・アジア大会を目標に掲げて取り組んでいることや、更にその原点として、(1)いかにテニスを愛するか、(2)ふるさとを忘れるな(育った地域・コーチに感謝すること)、(3)自分のテニスにつながっている日本のテニスの歴史を知る、この3つを子供たちに教えていること、もう一度歩んできた歴史を振り返り、これを学び、リニューアルして世界に通用する選手育成を行っていくとしています、といった内容をお話しいただき、現代テニスに通じるヒントがあるとして、昔活躍された熊谷一弥氏のフォームをビデオで流しました。

続いての植田実氏が小浦氏の話を受けて、歴史を知るというキーワードを元にウィンブルドンミュージアムの展示品を映像で紹介し、日本の過去に行った歴史的なデビスカップの映像や、フェデラーやナダルが育った文化的な背景が知りたくて、スイスやスペインのマジョルカ島を訪ねた時の映像も紹介しました。

更に『世界のテニスはヨーロッパ・アメリカが中心に進んでいることを知っておかなくてはいけない。その中に入っていくのだから物怖じせず、エネルギーを持って望まなくてはいけない』と実感したそうです。

以前ジュニアを遠征に連れて行った時に、イスラエルの選手と対戦して、ジャッジで相手選手が泣き喚き抗議をして、審判が入っても試合が進まなかったことがあったそうです。もし、日本人のコーチであれば「もう次のポイントのことを考えろ」とアドバイスをするところですが、イスラエル選手のコーチに聞いてみると、『我々の国は200年も戦ってきている。コートの中で戦うのは当たり前だ。』という答えが返ってきてびっくりした。というエピソードも語ってくれました。



■JPTAコンベンション 基調講演

次に、現在世界で活躍しているスペインテニスの強さとは何か?を調べてみたそうで、

- ・年間49週間の大会開催
- ・フランスに対抗する独自のシステム
(強い地域性だが、大会運営がセンターの役割)
- ・クレーコートに重点を置いたシステム
- ・フランスに負けないというメンタリティーが支える
- ・選手同士の仲間意識の強さ

といったことが挙げられるのではないかと話していました。

更に、日本のジュニアと海外のジュニアの差は、何よりも質の高いマッチ数、セット数による経験の差が大きいのではないかと考えているそうです。

そして、フェデラーとナダルが対戦した後、お互いが敬意を表し称えあったことを紹介されました。今の日本のジュニアは試合に負けて戻ってくると『○○ちゃんのスミジャッジが…』などと言い、親も同意・同情することが見受けられますが、そうではなく、『相手に対して敬意を持って接すること』を指導者が力を入れて教えていかなくてはならない事だと実感したそうです。

最後に、村上武資氏は2003年から行っているジュニアデビスカップ監督と、今年からはジュニアフェドカップの監督も兼任されています。

村上氏からは、日本のジュニアプレーヤーの課題ということで「時間をコントロールする」をテーマにお話を頂きました。

まず、日本の選手の特徴は

- ・同じリズム、ボールのスピード、回転、軌道でプレーしている
- ・ショットの打ち方、ボールのスピードに対して過剰な意識
- ・自分視点のテニス
- ・試合は、ゲームという意識の低さ

が挙げられるということです。



次にミスについて、『ミスはしているのか』『させられているのか』で大きく違うという。トップの選手は『させている』のである。ミスの原因は色々あるが、「時間」がないからミスは起こるし、大事なものは「自分の時間を作る」と「相手の時間を奪う」ことであると説明されました。

上記について、錦織圭選手が15才の時の試合ビデオを見ながら解説されました。ちなみに、村上氏が初めて錦織選手を見た時が小学校6年の時で、いきなりライジングショットで速い球を打ち、浅いボールはすかさずネットについてボレーやドライブボレーをこなしていた彼の才能にびっくりしたと言います。明らかに他の子供とは違う才能を感じたそうです。

そんな彼は「相手の時間を奪う」ことや「自分の時間を作る」を、既に15才の時の試合で実践していたのです。

更に「時間をコントロールすること」について次のように解説されました。

「時間」を作るには、

- ・早い準備
- ・ボールコントロール(回転の調節・軌道の調節)
- ・時にはポジションを下げる
- ・状況判断

➡ 相手の観察

(ポジション・ボールに対しての位置・体勢・心理状態)



適切な状況判断 ➡ 「時間」をコントロールする

このために高い「技術力」も必要である。

「技術力」とは、

- ・ショットの能力(深さ・回転・軌道・スピード)
- ・ショットの精度(コントロール)
- ・ショットの角度(オープンコートを作る)

ゲームを組み立てる基本

これが「時間」を奪うということであり、



相手との距離を縮める動き=技術力+相手の観察力



主導権を握る

以上の、「時間」をコントロールするというテーマに沿って、映像などを交えながら解説して頂き、参加された会員の皆さんは熱心に聞き入っていました。

翌日のオンコートセミナーも、引き続き村上氏が本日の内容を元に、トップジュニアをモデルとして実践していますので、両日参加することで更に具体的なお話が聞けるのではないかと思います。

以上

JPTAコンベンション オンコートセミナー

「最新テニス技術」

講師 /

日本テニス協会ナショナルチーム・
ジュニアフェドカップチーム監督 村上武資

参加プレーヤー /

守谷宏紀(湘南SSC)
松尾友貴(Fテニス)
江原弘泰(Fテニス)
奈良くるみ(大阪産業大学付属高校)



記録・作成 /
JPTAテニスアカデミー
田中 岳哉



現在、日本テニス協会ナショナルチーム・ジュニアフェドカップチーム監督の村上武資氏より前日の基調講演内容(日本のJrテニスプレーヤーに課題「時間をコントロールする」)を踏まえ、オンコートでナショナルチームでの練習内容が披露されました。プレーヤーには現在の日本のトップジュニア4名が参加しました。セミナーではナショナルチームが世界で戦うための課題等が村上氏の経験を交えて解説され、参加された会員がドリルを実践しながら行なわれました。

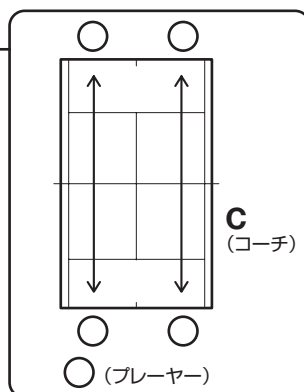
① コート半面を使つてのストロークラリー

ただ同じテンポ、同じリズムでストロークラリーをするのではなく、「自分の時間を作る」「相手の時間を奪う」ことを考えてプレーする。

相手からの情報(ポジション・構え・バランス等)をいち早くキャッチして、どのようなショットを選択するかを考え、行動に移す。

どうやって相手にプレッシャーをかけるか、相手にどうミスさせるかという意識を持ちチャンスボールを見逃すことなく、積極的にプレーする。そういうことをいつも頭におくことで、創造性あるクリエイティブなテニス、相手にプレッシャーを与えるテニスができるようになる。

スライス、トップスピン、ライジング、ドライブボレー、ネットプレー、ドロップショットなど、あらゆるショットを使って、試合と同じ状況でラリーをする。

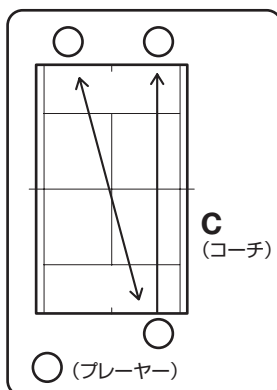


② 2対1のストロークラリー

クロスコートでのラリーから1人側のプレーヤーが甘くなったボールをストレートに打つ。2人側のプレーヤーからクロスに返球されたボールを再びクロスコートでのラリーをし1人側のプレーヤーが甘くなったボールをストレートに打つ。それを繰り返す。

世界のテニスはクロスコートからストレートへの展開、特にバックハンドストロークでの打ち合いで甘くなったら、フォアハンドストロークに回りこんで打ってポイントを取ることが多い。ストレートへ打つ方がクロスよりも距離が短く、相手の打つ時間を奪うことができる。ストレートへ展開することで重要なのは正確性である。スピードよりも正確性を重視する。ポイントはしっかり構えて打つこと、深いボールが必要の2点である。ストレートへ打つ正確性が上れば、相手を崩すことができる。結果としてゲームの主導権が握れる。

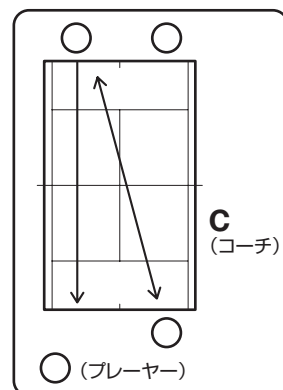
1人側のプレーヤーがうまくできない場合は、半面で行ったり、ボール出しから行ったりして徐々に慣れさせていくのも良い。



③ 2対1のストロークラリー

クロスコートでのラリーから2人側のプレーヤーがストレートに打つ。ストレートに打たれたときのディフェンス練習。1人側のプレーヤーは自分の打ったボール、相手の位置などを観察しながら、相手がいつストレートに打ってくるかを予測し、クロスに返球する。

相手に攻撃されても、バランスを崩さないラケットワーク、回転の調節、軌道の調節など返球はどんなショットがベストであるかを考えて打つ。スライスをを使い、時間を稼ぐことも意識させる。2人側のプレーヤーのストレートへ打つ正確性の練習にもなる。

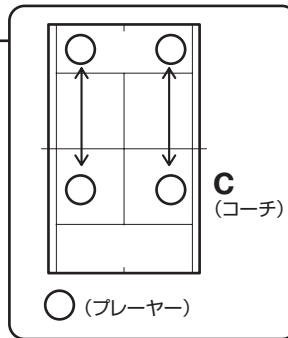


■JPTAコンベンション オンコートセミナー

④ コート半面を使つてのボレーストロークラリー

ストローク側はベースラインから1m前でプレーする。相手との距離を縮めた状態で行い、早い準備をさせる。ストローク側はコンパクトなラケットワークで返球する。

ただボレーストロークラリーをするのではなく、相手の心理状態、ポジション、体勢バランスなどの情報をいち早く察知して、次のショットを予測する。高い打点、良いポジションで打てれば、相手に時間を与えないで打つことができる。

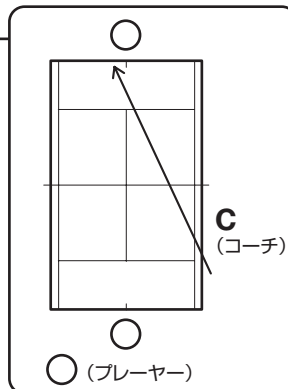


⑤ ポイント練習Ⅰ(1対1)

普段ではありえない状況を作って、わざとバランスを崩させて、それに反応させる練習。後ろを向いて構え、コーチの掛け声とともに振り返り、コーチから出されたボールにいち早く反応して、そこからポイント練習を行う。

コーチからボールを出されたプレーヤーは、バランスを崩された状態からのディフェンス練習、もう一方のプレーヤーは相手の状況を察知する練習になる。どんな状況にでも対応できるか力をつける。サービスリターンも同様に後ろを向いた構えから行う。

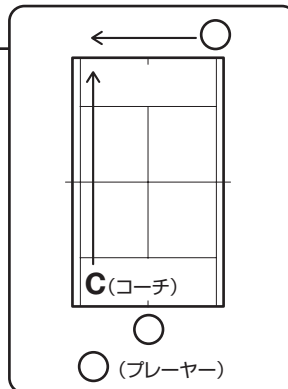
コーチの掛け声のタイミング、コーチからのボール出しを工夫することで、いろいろな状況を作り、プレーヤーに対応させるようにする。



⑥ ポイント練習Ⅱ(1対1)

ダウンザラインに打たれたことを想定して、返球してからのポイント練習。

ディフェンスの練習。



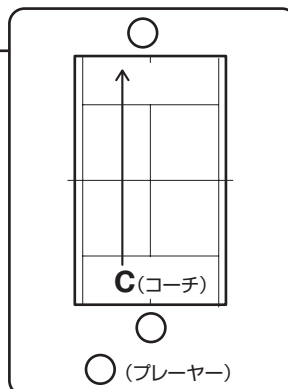
⑦ ボール出し練習

プレーヤーにとって厳しい状況を作り出してボールを打たせる。

(例) 高いボールを打たせる練習

ベースライン上にスピンの掛かった高いボールを出し、それをノーバウンドで返球させる。クレイコートで海外選手の威力あるスピンのボールを高い打点で、バランスを崩さずに返球させる状況を作る。

このようにコーチが工夫して、いろんな状況を作り、それを選手にやらせることにより対応できるようにさせる。



参加者から内容の濃い質問が村上氏にされ、参加者の意識の高さを感じました。その質問に対し、村上氏も世界を転戦された経験を交え、熱く語っていただきました。

参加されたナショナルチームのプレーヤーの今後の活躍に注目していきたいです。

JPTA能登国際女子オープンテニス大会 2008

トーナメントディレクター
平尾 大助

今大会の始まりは、平謝りからのスタートでした。3月に能登へ単身出張し、昨年の状況や地元のご要望をお聞かせ頂きました。ただただ「申し訳ございませんでした」が続きました。

半ば勢いで「今年は、WTAツアーに劣らない、能登以外にはない大会にします…」

と言ってしまった事を記憶しています。

その時の約束の言葉を、今大会のパンフレットの町長様のご挨拶の中に見つけました。

私たちは、地元の方々の能登への思いと大会の意味、JPTAへの期待を、プロとして感じ実現しなくてはなりません。

また、多額の資金が必要な国際トーナメントに対する協会の皆様のご理解とご協力を頂くことや、選手のために継続して大会を開催していく事も、それと同じ位大切な事です。その命題の両立を可能にしてこそ、JPTAが国際トーナメントを開催する意味があるように思います。



今年、能登国際女子オープンテニス大会では、「Good Tournament」と選手やコーチの方々にお言葉を頂きました。また大会終了後には、ITFのホームページに今大会のレポートがアップされました。少しは、その大きな命題に近づいたのかもしれませんが。

シングルス表彰式では、佐藤直子実行委員長の涙が印象的でした…。この能登国際女子オープンテニス大会にかける思いや努力、ここまで辿り着く道のりを振り返ってのことだと感じました。

最後になりましたが、今大会にご協力頂きました、能登町様をはじめ多くのスポンサー企業様、サポーター会員の皆様、大会実行委員会の皆様、運営スタッフの皆様に、厚く御礼申し上げます。



コサナカップJPTA大阪国際オープンテニス 2008

トーナメントディレクター
藤沼 敏則



右から
松尾選手(17歳)、
守屋選手(17歳)、
藤沼ディレクター

今大会で3回目を迎えました、JPTA大阪国際オープンテニストーナメントも、待望のメインスポンサーが決まり、「コサナカップJPTA大阪国際オープンテニス2008」として開催する事が出来ました。

会員の皆様もご存知の通り、フューチャーズというカテゴリーは、ATPポイントを取る下位大会になります。言わばこの大会に出場し、ポイントを稼ぐことで、チャレンジャーやインターナショナルシリーズへ出場できるようになって行くのです。そう言う意味では、フューチャーズは世界への登竜門的な大会になります。

今大会には予選を含め、12名の高校生と3名の中学生が参戦し、うちシングルスでは2名が予選から勝ち上がり、本戦から出場の1名を合わせ計3名がメインドローで戦い、2名が2回戦へ進出しました。

またダブルスでは中学生と高校生のペアが本戦に出場しましたが、18歳以下中国ナンバー1のMA選手とUSオープンJrダブルスB8のHSIEH選手組に負けてしまいました。

しかし今大会はその主旨の通りの大会となり、男子日本テニス界の将来に、大きな希望と夢を感じる事が出来ました。



今大会の覇者はJPTAプレーヤー会員の三橋淳選手です。三橋選手は第1回大会から参戦し、2年前は予選敗退でした。昨年はWCで本戦入りしましたが、初戦敗退と結果を出すことは出来ませんでした。しかし19歳になった今年、海外を転戦し自力で本戦に出場、そして待望の日本初優勝を手にすることが出来ました。

三橋選手は、JPTA主催の大阪国際オープンが一番思い入れのある大会で、この大会に参戦する為に海外の大会を途中で変更し、日本へ帰国して参戦したと言っているほどです。

私は最近、試合を見ていてこれほど日本男子テニス界の将来に、夢と希望を持った事はありませんでした。

今年に入って錦織選手が大活躍し、日本男子テニス界により光が見えてきたと感じている会員の方も多いと思います。私は彼らがあと数年で錦織選手に追随し、「日本のテニス界を盛り上げてくれるに違いない」と信じてやみません。その為にも日本国内で国際大会を開催する事は、非常に大きな意味を持ちます。

大会を開催するには、本当に多くの方々のご協力が必要になります。今大会でメインスポンサーになって頂きました株式会社コサナ様をはじめ、日頃より日本プロテニス協会を支えて頂いている公認企業の皆様や推薦企業の皆様、そして後援を頂きました関西テニス協会・大阪府テニス協会・大阪市・読売新聞大阪本社ならびにメディア各社様、会場を借りるに当たりまして、本当に色々とお便りを頂戴しました靱テニスセンター様、主審・線審・ボールパーソンの皆様、そしてすべてのJPTA会員の皆様のご協力があったこそ、初めて開催できる事と感謝致しております。

最後になりましたが、今年より国際・トーナメント委員長として大変ご苦勞し、ご尽力頂きました太田耕造委員長に感謝を述べたいと思います。

ありがとうございました。

JPTA札幌国際オープンテニス 2008

トーナメントディレクター
佐藤 雅規

9/14(日)～21日(日)まで江別市野幌総合運動公園を舞台に札幌国際オープンテニス2008が開催されました。

今年で3年連続3回目となるこの大会は天候にも恵まれ、また岩渕選手(ルネサンス)・本村選手(北日本物産)らのビッグネームに加え、三橋選手(北日本物産)・守屋選手(荏原SSC)ら注目の若手選手も参戦した事で、観客数も例年より多く最終日は600人以上が観戦し大会は大いに盛り上がりました。

さらに今大会の特徴として、韓国・中国をはじめアメリカ・ドミニカなど海外からの参加が多く、3年間で最も国際色の強い大会となりました。



また今年で2回目となるウェルカムランチには渡辺理事長も駆けつけて下さり、選手・大会スタッフ・地元関係者みんなでジンギスカンに舌鼓みを打ちました。

例年通り今年も盛り上がった大会を開催出来たのは、太田国際・トーナメント委員会委員長の適切なご指導、篠崎理事の献身的なご協力のおかげでありますし、レッスンの代講まで出して大会スタッフとしてご協力頂きました地元JPTA会員の皆様、そしてそれを後押しして下さったスクールの経営者の方々のご理解の賜物であると痛感しております。この紙面をお借りして改めてお礼を申し上げます。

また最後になりましたが、この大会を支えて下さった公認企業様・広告スポンサーとなって頂いた企業様、サポーター会員の皆様にも心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



2008JPTAニュージェネレーションテニス 第三回ジュニア育成プログラム 実施報告

ジュニア委員会 ヘッドコーチ
田村 伸也

実施日：2008年09月12日(金)～14日(日)
場所：韮テニスセンター
コート16面(デコターフ)
参加者：強化メンバー13名(男6名・女7名)
育成メンバー17名(男7名・女10名)
講師：田村 伸也 大竹 基史 梶下 欣昭
坂尾 和之 蔵野 毅
ファイン講師：河毛 利幸 田中 克典

1日目

- 13:00 **ウォーミングアップ**
手と足のコーディネーション：二拍子三拍子
(諦めずにやり続ける)
変化走：ジョグ・スキップ・サイドステップ・クロス
ステップ、等
ストレッチ(時間を長く)
アジリティードリル+ダッシュ：2種類 × 4回
起き上がりダッシュ4種類 × 1回
- 13:30 **ミニテニス**
フットワーク：サイドステップ微調節フットワーク
ストローク対ストローク(クロスのときの考え方：
ダブルスとシングルス)
○自分の形にこだわること、ボールの回転(トッ
プスピン・スライス)、ストレート・クロス、フット
ワーク、ミニテニスのレベルアップを強調
☆タッチショット練習：状況判断の話
ドロップショットラリー・ピンポンラリー・ポイン
ト練習
ボレーボレー：距離を変えて・パンチボレー
：タッチショットボレーボレー
- 14:00 **球出しドリル**
○ワイパー・フットワークとコントロール
しっかりボールの後ろから入り体重を前に移動する
○チャンスボールの打ち込み・リズム・高い打点と
低い打点
考え方とフットワーク：チャンスボールはない・リ
ズムをとって自分の一番打ちやすいフットワーク
と打点を探す
○三球目攻撃：三種類
1・フォアの逆クロスから回り込んでストレート
2・バックの逆クロス気味のストレートから回り
込んでフォアの逆クロス
3・コーチに向かってボールを打ちコーチの次
の球出しの様子を見てボレーカットかランニ
ングショットを試みる
○二十球三十球練習：二種類
アタックゾーンに来たボールを左右に打ち分ける
：センターからフォアでコントロール
ランダムに出たボールを打ち続ける：チャンスポ
ール・低い球

- 16:00 **サーブ・レシーブ練習**
第一サーブと第二サーブからの展開：考え方は前
回と同じ
この間順番に久松選手とラリー
その後全員が久松選手からサーブのアドバイス
- 17:00 ファイン講師河毛利幸氏田中克典氏によるケガ
の予防などの講義
- 18:30 夕食
- 19:30 解散

2日目

- 9:00 雨のため室内にてサーブ・レシーブの考え方の講
義をする
プロの久松選手との対談
- 10:30 **ウォーミングアップ**
変化走
ストレッチ(声を出す)
アジリティードラッシュ
ミニテニス
ボレーボレー：ミニ～ロング
- 11:00 男子は男子準決勝の試合観戦
女子はラリー練習
ラリー練習での心得
パートナーの打ったショットは最高のショット
ダブルスのパートナー・練習のパートナー
アウトボールこそ練習
取れないボールはツーバウンドでも取る
- 12:00 昼食
- 13:00 女子は試合観戦
男子ラリー練習
- 14:00 全員でダブルス決勝を観戦

2日目

- 15:00 **サーブ練習**
 サービスからの展開：三球目攻撃
 ○第一サーブを打ったら常に攻撃態勢をとる
 サーブ&得意なグランドストローク：回り込む準備
 サーブ&ベースラインコントロール：いいリターンが来たとき
 サーブ&ドライブボレー：状況判断
 サーブ&ボレーカット：状況判断
 サーブ&ボレー：球出し・サーブから2:1の練習
 サーブ&アプローチ：女子はアプローチで出ないほうがいいことが多い
 サーブのコントロール
 ○第二サーブを打ったら常にカウンター攻撃の準備をする
 レシーブからの展開
 第一サーブはとにかく返す：サイドを狙わず振り遅れても入るように、センターにブロック返球する。攻撃されたボールのカウンター攻撃を試みる
 第二サーブは前方にステップアップして打ち込む。次の返球を攻撃準備する(3球目攻撃)
- 16:00 **クロス・クロス・ストレートラリー**
 クローズドスキルからオープンスキルへ
 選手Aは常にクロスに打ち続ける・選手Bはクロスに2球打った後ストレートに打つ・最初は単につなげあう・次にクロスはつなぎで、ストレートは攻撃するつもりで、さらにそのストレートをカウンター攻撃するつもりでコントロールできるようにする。リズムはパンパンパンパパン・パンパンパンパパンとなるように頑張る。打つ方向が決まっているので慣れてくると結構繋がるようになる。最期は自分の状況判断でクロスからの展開にしていく(何でもあり)
 コースだけからメリハリをつけて・最後は状況判断でラリー・ネットプレーへ
- 16:45 **クールダウン**
- 17:00 **着替え**
- 17:50 **田村の講義**
 強くなる人はどんな人：皆で考え実行する
 ～気とつく熟語を考える：元気・やる気など皆で考え次回に発表する
 しっかり根を張れ、ゆっくり芽を出せ：基本をしっかり、あせらずじっくりやる
 普段の生活を大事に：それが試合に出てくる
 練習は不可能を可能にする
 三国清三の話
 :人の三倍やれば三年で九年分の経験を積める
 :自分に嘘をつかないで正直に生きれば、どんな逆境にも生きていける
 :人との出会いを大切に
 何事にも感謝の気持ちを持って
 すべての人・事・物に感謝の気持ちを持つ
- 18:30 **夕食**
- 19:30 **解散**

3日目

- 9:00 **ウォーミングアップ**
 変化走
 ストレッチ(声を出す)
 アジリティーダッシュ
 ミニテニス
 ボレーボレー：ミニ～ロング
 ラリー練習
- 10:00 **有志によるボールボーイ参加**
 残りの選手は試合練習:ポイントの終わったすぐにフィードバックアドバイス
- 12:00 **終了**
 全員で試合観戦:見事日本の三橋選手が優勝

感想

今回は試合の単複決勝戦を目の前で見ることができ、とてもいい刺激になったと思います。ボールボーイのボランティアでも活躍してとてもいい経験ができたと思います。練習の方はサーブとレシーブを中心に結構長い時間をかけて行いました。サーブのレベルアップと試合でのサーブとレシーブの考え方がしっかり分かってくれと良いと思います。

最後に今回一緒にお手伝いしていただきましたスタッフの方、参加されたコーチの方、同行していただいた保護者の方、ご苦勞様でした。



ジュニア委員会

第11回 ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン 地区大会結果

【九州地区大会】日時：8月28日(木)

会場：パークドーム熊本

低学年	選抜：田島 尚輝 (小2) 熊本庭球塾
	推薦：松本 妃那 (小3) 福岡パシフィック
	永嶋 綾乃 (小3) チームT.K
	岸 厚佑 (小3) クラージュTC
高学年	選抜：中村 優里 (小6) 熊本庭球塾
	今別府 風香 (小5) 春日西TC
	栗田 健太 (小6) ITS九州
	推薦：安達 晃 (小6) ドリームTS
	甲斐 直登 (小5) ドリームTS
	伊藤 有希 (小6) ITS九州
	徳永 薫保 (小5) 福岡パシフィック
	野田 楓佳 (小6) OTC

【九州地区大会】日時：9月7日(日)

会場：北九州ウエストサイドテニスクラブ

低学年	選抜：阿多 竜也 (小2) 筑紫野ローンテニスクラブ
	推薦：副島 こころ (小3) 春日西テニスクラブ
	小坂 祐生 (小1) NAS北天神
高学年	選抜：山口 真琴 (小6) 九州国際テニスクラブ
	推薦：野口 莉央 (小4) グリーンヒルズITS
	友枝 健 (小5) 油山テニスクラブ
	梶谷 亜未 (小5) 春日西テニスクラブ

【近畿地区大会】日時：9月15日(月・祝)

会場：ラケットバルテニスクラブ

低学年	選抜：松吉 克典 (小2) ラケットバルテニスクラブ
	木嶋 真鈴 (小3) 人丸テニスクラブ
	推薦：高川 海亜 (小1) ITC神戸
	吉弘 七菜 (小3)
高学年	選抜：山崎 貴裕 (小6) Tennis Bullet
	佃 主税 (小6) ラケットバルテニスクラブ
	石山 未悠 (小6) ラケットバルテニスクラブ
	推薦：田中 朗 (小6) ラケットバルテニスクラブ
	山内 香奈恵 (小5) テンIFT
	藤原 夕貴 (小5) テンIFT
	山本 紗奈美 (小6) ラケットバルテニスクラブ

【関東地区大会】日時：9月15日(月・祝)

会場：エストテニスクラブ甲府

低学年	推薦：保坂 駿太 (小2) エストテニスクラブ
高学年	選抜：角田 まり (小6) すがの台TC
	推薦：村木 陸 (小5) パパステニスクラブ
	権太 圭吾 (小5) ISHI T.A
	吾妻 進也 (小6) エストテニスクラブ

【北信越地区大会】日時：9月23日(火)

会場：グリーンインドアテニススクール

低学年	選抜：荻谷 一樹 (小2) グリーンインドアテニススクール
	推薦：阿部 朔矢 (小2) グリーンインドアテニススクール
	米沢 一志 (小2) エムスタイルTA
高学年	選抜：勝島 陽希 (小5) グリーンインドアテニススクール
	推薦：青木 惇平 (小6) グリーンインドアテニススクール
	渡邊 玲旺 (小6) エストテニスクラブ
	滝沢 健太 (小4) 柿崎テニスクラブ

【関東地区大会】日時：10月5日(日)

会場：TOPインドアステージ氷川台

低学年	選抜：松山 太朗 (小3) TOPインドアステージ亀戸
	飯村 大也 (小1) TOPインドアステージ亀戸
	佐野 有佑 (小3) 宇都宮テニスクラブ
	推薦：鈴木 沙也伽 (小3) Fテニス
	新井 湧己 (小3) J.S.S
	堀内 真帆 (小3) TOPインドアステージ氷川台
	高橋 悠 (小2) コートピア大泉TC
	佐藤 颯 (小1) TOPインドアステージ氷川台
	塩谷 彩 (小3) TOPインドアステージ氷川台
高学年	選抜：小島 日佳里 (小5) TOPインドアステージ亀戸
	推薦：寺村 拓海 (小4) テニススクエア石神井
	岡村 奈南 (小5) TOPインドアステージ亀戸
	阿部 竜仁 (小5) TOPインドアステージ相模大野
	佐々木 真樹 (小5) TOPインドアステージ相模大野

【北海道地区大会】日時：10月5日(日)

会場：ばんけいテニス研修センター

低学年	選抜：二階堂 友雅 (小2) 宮の森スポーツ倶楽部
	推薦：赤川 佑輔 (小3) 宮の森スポーツ倶楽部
	横山 日奈子 (小2) 宮の森スポーツ倶楽部
	横山 円香 (小2) ライジング
	石村 芽衣 (小3) ウイング
高学年	選抜：山口 ゆり (小5) 宮の森スポーツ倶楽部
	加藤 翼 (小4) 宮の森スポーツ倶楽部
	山田 陽丘 (小6) 宮の森スポーツ倶楽部
	推薦：水島 拳太郎 (小5) アクティブTC
	稲川 栞 (小4) アルマトーレ
	佐藤 信太郎 (小4) 小樽グリーン
	横山 公紀 (小4) ライジング
	板本 和也 (小6) ウイング
	堀江 広能 (小6) ライジング



ジュニア委員会

第11回 ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン 地区大会結果

【東海地区大会】 10月13日(月・祝)

会 場：名古屋MIDスポーツセンター

低学年 選抜：野川 智弘 (小3) テニスアカデミークレセント
 推薦：成田 園子 (小3) 名古屋MIDスポーツセンター
 伊藤 里奈 (小3) 春日井プリンステニスクラブ
 高学年 選抜：大矢 希 (小6) 名古屋グリーンテニスクラブ
 推薦：服部 準也 (小4) 茨木テニスクラブ
 宮田 みほ (小5) Team KOMADA

【近畿地区大会】 10月19日(日)

会 場：ITC神戸

低学年 推薦：末野 聡子 (小3) 人丸テニスクラブ
 桑田 風磨 (小2) ITC
 吉田 朋夏 (小1) コナミスポーツ
 高学年 選抜：山下 晶平 (小5) 木曜会神戸
 谷村 颯貴 (小6) TOY TA
 推薦：漁 圭祐 (小5) REX KOBE
 柳 早紀 (小6) 難波徹NAMP

【東海地区大会】 10月19日(日)

会 場：木曽川ローンテニスクラブ

低学年 選抜：堀江 亨 (小3) 木曽川ローンテニスクラブ
 推薦：橘 一慶 (小3) 木曽川ローンテニスクラブ
 恒川 真穂 (小3) フリー
 高学年 選抜：小関 夏永 (小5) 木曽川ローンテニスクラブ
 推薦：小島 未央奈 (小5) 木曽川ローンテニスクラブ
 角谷 駿介 (小5) 衣浦マリンテニスクラブ
 藪 巧光 (小5) 森林ロングウッド
 荒川 泰雅 (小5) 衣浦マリンテニスクラブ



小学生・中学生トーナメント 地区大会結果

▼小学生トーナメント

【関東大会】 日時：8月26日(火)

会 場：泉中央テニスガーデン

男子優 勝：恒松 優也 (小5) 武蔵野ドームTS
 男子準優勝：三鼓 優介 (小6) アキラITC
 女子優 勝：鈴木 麗央菜 (小6) エバーグリーン
 女子準優勝：藤田 マリアン (小6) 荏原SSC

【九州大会】 日時：8月28日(木)

会 場：泉パークドーム熊本

男子優 勝：香下 敦優 (小6) 宇佐ローンTC
 男子準優勝：森 龍翔 (小6) 福岡パシフィック
 女子優 勝：野田 楓佳 (小6) 大分Jr
 女子準優勝：永嶋 遥 (小5) チームTK

【近畿大会】 日時：8月26日(火)

会 場：灘浜スポーツゾーン

男子優 勝：福田 創楽 TEAM STUFF
 男子準優勝：大久保 篤史 鶴見緑地MTS
 女子優 勝：笹部 佑衣 難波徹NAMP
 女子準優勝：伊藤 沙弥 REX KOBE

【東海大会】 日時：9月21日(日)

会 場：ピスタヴェルデ春日井テニスクラブ

男子優 勝：井上 英輝 (小6) 佐々JTS
 男子準優勝：田中 瞭良 (小6) ピスタヴェルデ春日井テニスクラブ
 女子優 勝：大矢 希 (小6) 名古屋グリーンテニスクラブ
 女子準優勝：大近 彩 (小6) WTA蒲郡

▼中学生トーナメント

【北信越大会】 日時：8月19日(火)

会 場：軽井沢塩沢テニスコート

男子優 勝：加藤 隆聖 (中1) 西の丘ローンTC
 男子準優勝：森 一馬 (中1) INQUE.T.A

【関東大会】 日時：8月26日(火)

会 場：泉中央テニスガーデン

男子優 勝：恒松 拓末 (中1) 武蔵野ドームTS
 男子準優勝：真下 喜巨 (中3) 志津TC
 女子優 勝：坂上 茉弥香 (中1) 武蔵野ドームTS
 女子準優勝：柳澤 祥瑚 (中2) I HSMレニックス

【東海大会】 日時：9月14日(日)

会 場：ピスタヴェルデ春日井

男子優 勝：宮脇 駿 (中3) CIAO.TC
 男子準優勝：太田 裕人 (中2) 桑名庭球倶楽部
 女子優 勝：菅原 愛理 (中3) 亀美ヶ丘TC
 女子準優勝：山田 紗矢香 (中1) フリー

【近畿大会】 日時：9月23日(火・祝)

会 場：タルミグリーンテニスクラブ

男子優 勝：山本 直人 (中2) NOAH.IS
 男子準優勝：トレド 玲央 (中2) スポーツビレッジ
 女子優 勝：東中 瑠衣子 (中3) COZY朝霧
 女子準優勝：志村 桃 (中2) スポーツビレッジ

資質向上委員会セミナー (関西) 報告

開催日時：2008年7月16日(水) 13:30～17:00
場 所：大阪市中央公会堂
講 師：(株)トレビック代表取締役 梶棟 紀夫 氏

今回の関西での資質向上セミナーは、大阪の真ん中でレト口感を満喫できる場所を選んでの開催でした。そして講師の梶棟先生と、練りに練ったテーマは「できるコーチの条件」。

テニスコーチがメンタルについて学ぶとき、そこには様々なニーズがあります。現場を熟知される梶棟先生ならではの手法を使って、年齢・経験・環境などによって異なる「知りたいこと・必要なこと」を、「できるコーチとは？」という切り口から参加者と一緒に分析し、最終的にそれ



資質向上委員会副委員長
金丸 由紀

それが答えを出す鍵を渡してくださった、すばらしいセミナーでした。

参加人数は33名と大盛況で、しかも東京・横浜・名古屋・三重・京都・大阪・兵庫・高知という広域から、幅広い年齢の会員の方々に参加して頂くことができました。

以下は国際トーナメントにセミナーに大活躍の、関西担当地区長・小倉会員が作成された「セミナーまとめ」です。日々ご多忙でセミナーに参加できない方、毎日へのヒントが満載ですよ!!

～指導者のためのメンタル～ 「できるコーチの条件」

講 師：(株)トレビック代表取締役 梶棟 紀夫 氏

記録・作成／
兵庫県地区長
小倉 英司



①できるコーチと呼ばれたい

指導者のための(持つべき)メンタルについて
講師の経験から言えること

- ・伊達公子という存在・イメージを思い描き、自分にできることがあるはず、と思えることがコーチングの始まりである。
- ・できるコーチはテニス界やスポーツ界に限らずビジネス界にもいる。「すごいコーチ」と呼ばれたいと思うのなら、行動をすることが必要。
- ……考えるだけではダメである。
- ・明日の戦力(学生・若い人達)が10年後にどのようなコーチになっているか。専門学校化している中で、専門の知識だけでいいのだろうか。
- ……いろんな物を吸収して欲しい。
- その中味はコーチングに関するものだけでいいというものではない。できるとはどういうことなのかを突き詰める必要がある。
- ・メンタルの知識とコーチング(ビジネス界でもはやっている)の技術があれば
- ……選手・プロの卵たちに対して話ができるようになる。

・テニスコーチの役割

知識(情報)を駆使することが必要とされる、ゆえにキャリアで変わってくる。

コーチの語源…ある町の乗り合い馬車、利用者を確実に目的地に送り届ける仕事。

コーチは選手、生徒を目的地に送り届けなければならない。

そのコーチングには…

技術面の指導ばかりでなく、メンタル面の指導も含まれる。

メンタルの指導とは…

脳の処理の仕方を指導すること。

そこにはプラスの処理法とマイナスの処理法がある。

結果として、①うまくなる、②試合で100%の力を出す。といったことにつながらなければならない。

そのためにも…

- ・豊富な知識を持っていて、上手にできる。
- ・うまくなることと強くなることを見極めて指導している。
- ・テニスが上手であり、球だしなどコーチとしての技を持っている。
- などの要素を持ち合わせていなければならない。

②メンタルの流れを考える

(1)メンタルマネジメント

(考える力と感じる力=目標→計画→練習)
 ブレインマップ(脳地図)により、自分を知り、自己実現の道筋をつける。
 意識と思考…
 無意識の中に大切な物がある→「脳地図」から探る。
 コーチは、どれだけのことをさせなければならないのかということに対して、練習量であれば、15秒間全力走+ジョギング45秒のインターバル走15～20本などの練習を課せば良いのだが、人間(選手・生徒)の持っているエネルギーをどうひきだすか?
 …今やっていることに集中させることで成果が違ってくる。

イチローのすごさ…
 練習でもスピードを落とさずベースを駆け抜ける。
 試合に繋がることを知っている。

コーチは「練習の目的」を告げなければならない。
 ・日頃の練習で選手のエネルギーを出せるかどうかが変わってくるはず。
 ・引き出しを増やすことでも生徒のさまざまな目的に対応できる。
 …良いコーチはそのためにも相談できる人がいなければならない。
 安全に確実にコーチできるかどうか知識の深さにかかわっている。

☆メンタルの学習

1)リラックス

- ・結果を考えないこと、プラスの処理をすること
- ・2つのリラックス(心と体)
- 丹田重心を覚える…
- イコール身体リラックスを体現できる
- 腹式呼吸…
- 4秒かけて鼻から吸入、8秒かけて口から排出
- ・人間は「気」を持っている。無い物があるとさえイメージできる。
- それを使って…ボールが背中から頭の上をとおり丹田に収まるイメージ
- 丹田重心の姿勢
- レシーブの時、腰を押されても崩れない不動のバランスになる。回数をこなすこと(練習)で完成に近づく。さらに、鼠頸部がソの時に滑り

込む「股関節滑らし」ができるようになれば…
 可動域が広がる。

実習…イスに腰掛け、膝を固定された状態での回転の可動域とイメージが作り出す股関節滑らしで可動域が広がる。

ボールを腹筋で打つという感覚を持っている伊達公子の言葉

・「手に力が入るのはだめだと思う」
 …リラックスに近づく。
 ・手の力を抜きたい時には足の裏に力を感じるようにする。
 ・不安を取り除く準備(一に練習、二に練習)
 →自信

2)イメージ

・内的処理(筋肉)ではなく、外的処理(対象物)をする。
 ・どこにどんなボールを…
 体で感じさせるために、イメージできる言葉を使うコーチング。
 イメージとは人間だけの特権である。
 未来の目標を持てるというのもイメージが関与している。

そのためには情報がある。
 スポーツの場合、コーチのスイングや仕草がイメージにつながる。
 イメージの力…

人間の筋肉活動はイメージに引っ張られる。
 潜在能力を引き出し、顕在力同士の戦いに差を付ける。
 「ビーム」(イメージ)の力で肘は曲がらない。
 イメージは自由に作れる。
 ピッチャーはミットに穴が開くとイメージできる。
 小脳にコピーできた時に完成に近づく。

浅越選手の低迷期にもビームをイメージさせた。
 どこに…集中
 どんなボールで…イメージ
 ボールがどんな風に飛ぶかのイメージ
 …根気良くコーチは言い続ける必要がある。
 ビームを使える選手が強くなる。
 ・目標達成への戦略(プラン)をしっかり立てる。

3)集中

・周辺集中(ソフトフォーカス)←→中心集中(ハードフォーカス)
 ・試合では「プレー目標」に集中
 ・リセット→キーワード「身体の動きは心が決める」
 集中とは1つのことに注意を向けることであり、注意し続ける力を集中力という。(1つだけ)選手・生徒に注意する方法一つで目標がぶれてしまうこともある。

(2)メンタルコンディション

(準備の大切さ=セルフイメージ・戦略)

試合の間際に選手がネガティブ思考に陥る場合それを聞き出してやる。

(3)メンタルスキル

(ルーティン・集中することの大切さ・ひらめき)

(4)メンタルタフネス

(変化への対応=プラスの処理・感情コントロール)
 心理的事実に影響を受ける。どのように感じるか、どう処理できるか、

(5)メンタルヘルス

(こころのクリーニング・癒し・人生の意義)

(6)人として育て(引き出さ)なければならない潜在力

基本力 … 聴く力(本質)、観る力(眼力)、情報処理力
表現力 … 書く力(文章力)、話す力(説得力)、実行する力
人間力 … 知性(考える力)、感性(感じる力)、品性

③「指導力と監督力」を考える

指導者の指導理念・教育観・コーチング力・マネジメント能力などによって選手達は、やる気(反発)・上手(下手)・強く(弱く)なっていきます。

即ち、指導者の力量(総合力)が選手の将来に大きな影響を与えているのはまぎれもない事実です。

☆指導する力(上手い選手を育てる)

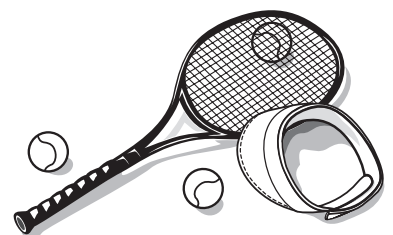
1. 知識・情報・変化への対応を基に、指導理念の確立がなされている

2. 自分が模範演技が出来る(視覚からのアプローチ=ビデオ利用)
3. 基本的な知識・セオリー等を充分理解させる(ミーティング=言語=興味)
4. 先ずは、選手の長所を伸ばす指導(欠点ばかりを指摘する指導者もいる)
5. 次に、不足している部分(一点)を見抜く眼力(心・技・体・視のトータル思考)
6. 自ら考えて行動できる選手の育成(興味を持たせ→考える力を育てる)
7. 感じる力(身体感覚や予測する力)を育てる(問いかけ=どんな感じ・何故?)
8. 「競走と協調の原則」を教え育てる(負けず嫌いと思いやり)

☆監督の存在感(強い選手を育てる)

1. 選手の技量・性格を充分把握し、「戦略」的アドバイスができる
2. 内在している「やる気」「勇気」を引き出してやる指導(引出しの量)
3. 試合でもてる力を発揮させるための言葉掛け(何に集中=注意に注意する)
4. 指導者自身が「役立ちノート」をつけている(成功・失敗のチェック)
5. 選手の人生をロングスパン(見通す力)で考えてやる
6. 日常生活(舐も含む)→態度教育に重点を置く(武士道精神も参項に)
7. メンタルフォロー(選手のSOSを見抜く力 等)を持つ
8. 試合当日の指揮官の頭は、クリーンで冴えていなければならない

上記にある「指導力」と「監督力」には、はっきりとした区別がありません。また、「こうすれば絶対だ」と言う方法も結論も存在しません。指導者にも、得手不得手・長所短所があって万能ではないからです。(個性)
 指導法とは、指導者の数だけあり、その指導者の「思い」と「継続力」によって創り上げられていくものだと思っています。



④コーチングの定義と基本

1.コーチングの定義

- ・人は「考えろ」と言われても奥の深いところまでなかなかたどり着けません。しっかりと考えるには優秀なコーチの質問に「答える」ことが一番有効なのです。
- ・コーチングするとは「聴いて、受け容れて、質問すること」なのです。人は自分で『答』にたどり着いたときに大きく前進できるのです。その答は『本人の中にある』というのが「コーチングの考え方」なのです。
- ・人は皆、無限の可能性を持っています（発揮する方法が見つからないだけ）相手の眠っている『答＝気づき＝自発性』を、主に「質問というツール」を使ってノックすることがコーチの役割なのです。

2.コーチングの基本テクニック

【誘導型コーチング】 【認知型コーチング】

- ①話しやすい状況をつくる
→ 場所、傾聴態度、小さな質問、沈黙
- ②コーチングでは「相手がしゃべりながら自分の考えに気づく」ことを基本
- ③相手の話を聴くためには、こちらの色メガネを外すことが必須条件
(人間は自分の話を聞いてくれる人に多くを話す)
- ④引き出す質問をする
→ 拡大質問、未来質問、肯定質問(話を促す言葉掛け)
- ⑤相手の話をさえぎらない
(先回りして結論を言わない)
- ⑥承認の欲求を満たす
(人は存在を認めて欲しい＝できれば褒めて欲しい)
- ⑦復唱する
(フィードバック:「話を受け入れた」というサインで終了する)
- ⑧「未完了」をなるべく早く処理をし、エネルギー口スを極力なくす
- ⑨メッセージの力
(変えようとしている間は人は変らない)
- ⑩ペーシングの大切さ
(自分とは異質だと感じたら人は「拒絶反応」を示す)
- ⑪アドバイスをする場合「自分軸＝エゴ」ではなく「相手軸＝愛」で行なう

⑫質問をクリエイトする(言葉の本質を明らかにする質問・視点を変える質問)

⑬目標に対し「何をするべきか」→「どうやるべきか」
→「いつから始めるのか」

などの質問をすることで『現実の行動』につなげるようにする。

☆3分間コーチング

コーチ役とクライアント役で実習

質問に答えていくうちに、自分の思いをまとめられるかどうか

答えを持たないクライアントがいたら、情報を与えていないということになる。

コーチとしては適切な情報を与えることにより、コーチングとして成り立つ。

クライアントは人に話を聴いてもらうとうれしくなる。

常に、1対1の状況を作り出せることはないので、多くの人をコーチングするための方法として「3分間コーチング」がある。

潜在力

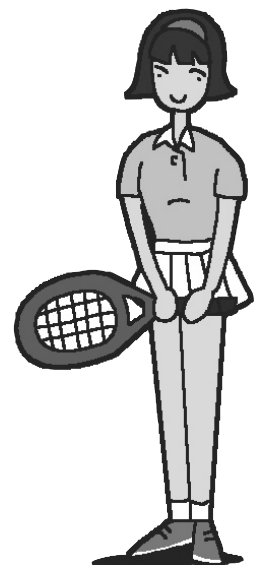
(気づいていないだけで知っていることがある)

…本人が気づいたように思わせる。

…誘導型も必要

(指示を待っている生徒にもコーチングを)

生徒・選手・会員との係わり合いの中で、変えなければならぬものと変えてはならないもの(社是など)がある。



⑤人を育て自分も育つ(共育)

人を育て自分も育つ(共育)

相田みつをさんの詩に

「花があって 花を支えているのが枝、
枝があって 枝を支えているのが幹、
幹があって 幹を支えているのが根、
しかし、根は見えていないんだなあ」

根とは何かというと、考え方、とらえ方、感じ方、生き方、人間性、人柄、価値観、人生観である。それらは目に見えない。だが考え方が幹、つまり行動となって現れ、結果として枝から花が開き実がなる。

最近の若者をみていると、学歴は立派だが、学力がない。知識は得られるが、知恵・工夫が足りない。体格は立派だが、体力がない。これは何を意味するのだろうか。

時代とともに変わっていくもの、変えなければいけないものもたくさんある。だが、いくら時代が変わろうとも、絶対に変えてはならないものもたくさんあるはずである。

85年前、文部省から出された尋常小学校修身書を読んで感動した。

3年生「よい日本人」の頃に「父母に孝行を尽くし、師を敬い、友達には親切にし、近所の人とはよくつき合わねばなりません。正直で寛大で慈善の心も深く、人から受けた恩を忘れず、人と共同して助け合い、規則には従い、自分の物と人の物に分かちをつけ、また、世間のために公益を図らなければなりません。

そのほか、行儀をよくし、物を整頓し、仕事に骨を折り、学問に励み、体の健康に気をつけ、勇気を養い、堪忍の心を強く、ものに慌てないようにし、また儉約の心がなければなりません。

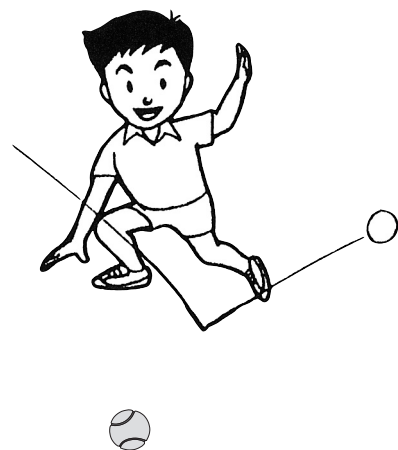
かように自分の行いを慎んで、よく人に交わり、世のため人のために尽くすように心がけるのは、よい日本人なる大切なことです。そうして、これらの心得は真心から行なわなければなりません」

われわれの命の元は両親。親を敬いも感謝もしない人間で大成した人はただ一人もいない。文句ばかり、愚痴ばかり言う人間で大成した人はただの一人もいない。だからこそ、原点(根っこ)に変えることが大事なのである。

(千房(株)中井 正嗣氏 講演記録より抜粋)

もう一度、「できるコーチ」と呼ばれたいと考えた時に、プラスされる物があるだろうか？

成長は変わることであり、変化が進化に変われば幸いである。



資質向上セミナー(関東)報告 ～ プロフェッショナルは内面も磨く ～



会 場：東京体育館第二会議室
資質向上委員会委員：米田 良祐

9月29日(月)、資質向上委員会 関東セミナーが協会員を中心に25名の参加者が集まり、開催されました。



第一部：セミナー「コーチングを理解する」

講師に、現役アメリカンフットボールのコーチでもある、松場俊夫氏をお招きし、コーチングの概念から基本の取り入れ方を解説、ロールプレイングを用いながら進められました。そして松場氏が自身のコーチングするチーム(オービックスガールズ)での事例も挙げていただき、より詳しく参加者に伝えられました。

ロールプレイングでは、2人1組や全体での手法が持ちいられ、「何を引き出すのか」「どう答えるのか」などコーチング(聴く技術)と質問する技術を深めていきました。

その結果、参加者の多くは「コーチングのベースになるものは何であるのか」また、「コーチング技術にはどんなものなのか」というような、本質にあたる部分を深いところまで理解したようでした。

第二部：講演「ハンドボールをメジャー化するために」

本年度の目玉といってもよい、ハンドボール界の貴公子、宮崎 大輔選手(大崎電機/プロ選手)をお迎えしました。

なぜ今回、宮崎選手をお迎えしたのか? それはテニス界の現状にある「国内のテニス界を盛り上げるにはどうしたらいいのか?」という課題を、「ハンドボールをメジャースポーツに」する為に、プロ選手の立場で活動が続けている宮崎選手の経験を話してもらうことでヒントを得ようと思ったからです。

参加者の皆さんは選手を育成する立場の方が多く、「選手にはプレイ以外にどんな活動が必要なのか?」「どんな考え方を持たせるべきなのか」を理解する良い機会となり、そして宮崎選手が語るハンドボールにかける思い、魅力、ファンを増やすための地域普及活動、自身のPR活動などの経験談や苦労話に刺激を受けていたようです。

さらに、講演終了後には、自ら参加してくださった方に歩み寄り、時間の許す限り写真撮影や握手に応じてくださるところをみても、プロとしての意識の高さをテニス界に教えてくれました。



◀参加者にお配りした商品です。

最後に今回セミナー開催にご協力いただいた明治乳業株式会社VAAM様ありがとうございました。

ー協会資質向上委員会ー

より多くの協会員の皆様に参加していただく為に、あらゆる分野のセミナーや講演を企画しておりますが、皆様からの協力が重要と考えています。是非、ご意見や要望を委員会までお知らせください、宜しくお願い致します。

2008 神奈川地区 セミナーの ご案内

神奈川地区長 高澤 克巳

この度、下記の通り「JPTA神奈川地区セミナー」を開催させて頂く事となりました。

テニスを教えるだけのスクール事業所やテニスコーチとしてではなく、サービス業という観点からのテニススクールの運営やコーチの役割について、長年サービス業としてデパート業界に従事された平間征夫氏をお招きし、講演をお願い致しました。

又、オンコートセミナーとして、日本テニス協会ナショナルチーム委員のお馴染みの田村伸也プロに「ジュニアの育成」と一般愛好家の「ダブルスの戦略」について講演して頂く事になりました。

会員の皆様におかれましては、お忙しい時節とは思いますが、是非セミナーにご参加頂きまして、ご自身のスキルアップにご活用いただければと思います。

～ 実施要綱 ～

【日 時】平成20年12月5日(金) 10:30～16:30

【講 師】田村 伸也プロ……

【会 場】メガロス神奈川 TEL 045-430-4300

「ジュニアの育成」「ダブルスの戦略」

【参加費】会員/¥4,500 一般/¥5,500

平間 征郎氏 ……

(当日現地にしてお支払い下さい。)

「テニススクールに求められる

【定 員】40名

顧客サービスとコーチの役割について」

JPTA テニスアカデミー

目指せ! ウィンブルドン ～夢に向かって…～

▼JPTAテニスアカデミーでは…

昨年、毎日選手権大会でシングルス優勝、国際大会シングルス、ダブルス合わせて4大会で優勝した岡あゆみプロ(JPTAプレーヤー会員)が、ジュニアとともに練習をしています。また、現在タレントとして活躍している神尾米(元世界ランキング24位)や、佐藤哲哉(元デ杯選手)等をジュニアから一貫して育て上げた伊良子妙子プロが指導、試合にも帯同します。レッスンにはいつでも参加できます(テニス寮があります)。

募 集 要 項

◆ プロコーチ専攻科(20年度 4月生募集中:2年制)
〈プロコーチ専攻科システム〉

- * 2年間の履修(6カテゴリー)
- * 18歳以上の男女(テニス歴3年以上)
- * どのカテゴリーからも入れます
- * 専門分野、実技、実地練習などを履修します
- * 英会話教室有り
- * 寮生コース有り
- * 通い生コース有り
- * 1カテゴリー(3ヶ月間)だけでも受けることができます
- * JPTAライセンス、USPTAライセンスが取得できます

JPTA テニスアカデミーはいつでも体験で参加できます。
生徒募集中!

◆ プレーヤー養成コース

- ○寮生:中学生以上。ただし、自分の事がしっかりできる小学6年生は受け入れる場合があります。
- ○通い生:トーナメントコース(月曜を除いた毎日)、選手コース(平日4日、または土日2日)
- ○登録コース:1年間有効登録(キャンプ、イベント情報の優先連絡、費用も格安、いつでも参加ができます)

JPTA テニスアカデミー ジュニアキャンプ開催

- 12月 6日(土)～ 7日(日) 1泊2日
- 12月20日(土)～ 23日(火) 3泊4日

※詳細はHP又は、
アカデミーまで

新入会会員挨拶

※入会手續完了の新規会員様

氏 名	資 格	勤 務 先
鈴木 一也	インストラクター	エバーグリーンフォレスト横浜
JPTAに入会後は、もっと質の良いレッスンを行い、テニス人口を増やせていきたいと思っています。P1を目指して日々練習をしていきたいと思っています。		
鈴木 淳	プロフェッショナル3	株式会社エバーグリーン
JPTAの会員として、日々勉強と努力をして、楽しいレッスンを心がけます。		
今井 亮介	インストラクター	初石テニスクラブ
JPTAの会員になるにあたり、プロコーチとしての自覚を持ち、一人でも多くの人にテニスを楽しんでもらい、今後のテニスの普及に貢献したいと思います。私の特徴は、人なつこそうな見た目と元気の良さを売りにして、明るく楽しいレッスンをモットーに頑張っていきます。今後ともよろしくお願い致します。		
山根 将樹	インストラクター	神奈中テニススクール伊勢原
このたび入会させて頂くことになりました山根将樹と申します。今後ともテニスの普及、自己の指導スキルアップにも精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。		
石井 亮平	プロフェッショナル3	OTSテニススクール
今後はプロとしての意識をより一層強く持ち、所属テニススクールはもとより、テニス界全体に貢献出来るよう、日々努力していく所存です。		
牧内 伸浩	プロフェッショナル3	横浜テニスカレッジ ザ・センター
勉強してきたことを日頃のレッスンに生かしていけるよう頑張ります。これからも日本一のテニススクールを目指します!		
古谷 繁之	インストラクター	経堂インドアテニススクール
この度、日本プロテニス協会会員の一人とさせていただくことになりました、経堂インドアテニススクールの古谷繁之と申します。まだまだ未熟者ですので、より上のレベルのコーチを目指して頑張っていきたいと思っておりますので、これから宜しくお願い申し上げます。		
新井 慶	プロフェッショナル2	横浜テニスカレッジ ザ・センター
本年度より入会させて頂きました。年齢は高いですが新人ですので宜しくお願い致します。入会後は日本のテニス界を発展させるために頑張りたいと思います。		
内田 英之	プロフェッショナル3	横浜テニスカレッジ
異業種経験を多数持ち合わせています。主にサービス業ですが、これらを生かし、サービス業的レッスンを確立したいです。今後とも宜しくお願いします。		
藤原 和久	プロフェッショナル3	OTSテニススクール
テニス普及の為、ガンバッテいきたいと思っています。		

JPTA公認 ブリヂストンスポーツオフィシャルテニスボール 12月分発注について

2009年1月10日
前後発送予定

いつもブリヂストンスポーツオフィシャルテニスボールをご注文頂きまして、有難うございます。平成20年12月分の発注日の締切日が早まりますのでご注意ください。

※毎年12月は、先方の工場稼働日の都合上、締切日が早まりますのでご了承ください。

通常締め切り:毎月25日 PM12:00迄
(25日が土日祝の場合は、翌営業日)



**平成20年12月締め切り:
12月18日(木)PM12:00迄**

平成21年度 年会費 分割支払い(リボ払)制度のご案内

お知らせ

会員サービス拡大として、平成19年4月より「年会費分割支払制度」を導入しております。

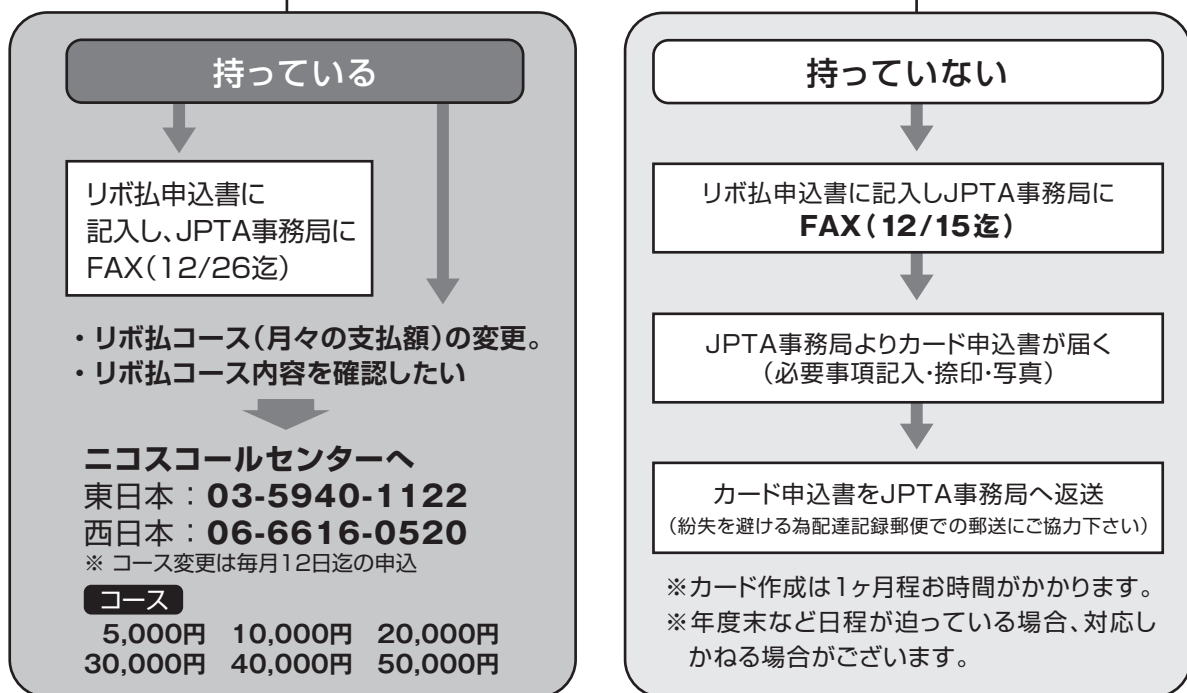
分割の支払方法は、UFJニコスのリボ払いを使用致しますので、ご利用の希望をされる場合はJPTA会員カード(ニコスカード)をお持ちである事が条件となります。JPTA会員カード(ニコスカード)をお持ちでない場合は、新規にカードの入会申込みをして頂くことになります。

平成21年度支払分よりリボ払いをご希望の方は、下記の手順にてお手続きが必要となりますので、事務局までお問合せの上、お申込用紙をご請求下さい。また、カード作成にはお時間がかかりますので、お早めのお手続きをお願い致します。(最終締切日:12月26日(金)／カードをお持ちでない方は、12月15日(月)迄にご返信下さい)

※リボ払いとは、リボ払いコース(毎月振替される一定額)を予め選択して、元金+手数料をUFJニコスへお支払頂く支払方法です。

年会費分割支払制度案内

JPTA会員カード(UFJニコスカード)

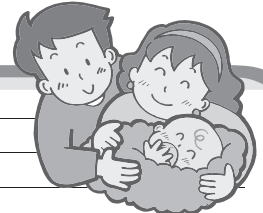


平成21年度 退会・休会の手続きについて

平成21年度4月よりJPTA退会、USPTA退会、休会、シニア会員へのお手続きにつきましては、必要書類を事務局よりご請求後、ご郵送下さい。提出期限は、平成21年3月末日必着とさせていただきます。4月以降のご提出となった場合、年会費のお支払が発生し、ご返金は致しませんのでご了承下さい。

また、21年度からシニア会員に該当する会員様には、事務局より1月末日までにご連絡をさせていただきます。お早めのお手続きにご協力をお願い致します。

事務局
だより



おめでた

★ ご結婚

平成20年 7月 7日 武内 敬吾 と 内田 亮子
平成20年 8月17日 大川原 明恵 と 田澤 直樹
平成20年 9月20日 後藤 礼子 と 渡邊 基
平成20年 11月 8日 長尾 信太郎 と 國澤 真佑子

★ ご出産

平成20年 8月26日 畑 信治 (アミティーテニススクール)
次男 遥翔 (はると) ちゃん
平成20年 9月 9日 堀川 圭輔 (泉大津ロイヤルテニスクラブ)
長女 心暖 (こはる) ちゃん
平成20年 9月15日 深澤 啓志 (エストテニスクラブ)
次女 亜美 (あみ) ちゃん
平成20年 9月17日 上村 政仁 (スウィング89)
長男 圭人 (けいと) ちゃん
平成20年10月 3日 伊東 丈仁 (遊ブラザテニスクラブ)
長男 駿汰 (しゅんた) ちゃん

おくやみ

平成20年 6月15日 土井 洋 実母 シマリ さま
平成20年11月 2日 池田 茂樹 実父 昌昭 さま
平成20年11月 7日 村田 修 実母 貞子 さま
平成20年11月16日 土井 洋 妻 文江 さま

■会員情報 勤務先変更のお知らせ

氏 名	勤務先名	〒	勤務先住所	TEL	FAX
音喜多 秀顕	駒ヶ根テニスカレッジ	399-4117	長野県駒ヶ根市赤穂9340-33	0265-81-4977	
中島 健文	㈱ホープテニスプロジェクト	241-0825	神奈川県横浜市旭区中希望が丘235 希望が丘テニスクラブ内	045-364-1333	045-364-1373
深谷 典央	TOPインドアステージ相模大野	228-0803	神奈川県相模原市相模大野7-9-15	042-767-5030	042-745-3883
古賀 俊秀	ルークール みのたにGITS	651-1252	兵庫県神戸市北区山田町原野	078-581-3554	078-581-3554
川元 義浩	三恵インドアテニススクール	115-0044	東京都北区赤羽南2-4-15	03-3903-9090	03-3903-9091
周世 康生	ノア・インドアステージ天下茶屋	557-0041	大阪府大阪市西成区岸里1丁目1-40	06-6652-7248	06-6652-7249
堀川 圭輔	泉大津ロイヤルテニスクラブ	595-0024	大阪府泉大津市池浦町1丁目8-33	0725-22-2324	
川畑 智浩	テニススクールNAS北天神	810-0071	福岡県福岡市中央区那の津2-10-9	092-713-5520	092-713-5520

■会員情報 住所変更のお知らせ

氏 名	〒	自宅住所	TEL	FAX
武内 敬吾	177-0042	東京都練馬区下石神井3-9-13 石神井公園ガーデンマンション101	03-6658-5481	03-6658-5481
音喜多 秀顕	399-4117	長野県駒ヶ根市赤穂9310-12 シティコーポ21-101	0265-82-4471	
太田 茂	157-0063	東京都世田谷区粕谷4-21-11 ジョイシティ千歳烏山304		
長澤 しんじ	494-0003	愛知県一宮市三条新15番地1 レインボー三條302	0586-82-8224	0586-82-8224
川元 義浩	351-0115	埼玉県和光市新倉3丁目3-1-306号	048-467-5716	
梶丸 幸孝	569-1034	大阪府高槻市大倉司2-3-16 ハイツタナカ203		
周世 康生	661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺2丁目7-1 プロスベリテ302		
渡邊 礼子 (旧姓:後藤)	063-0061	北海道札幌市西区西町北18丁目4-22 GRAN-D C-013		
徳重 幸人	335-0034	埼玉県戸田市笹目2-14-15 コスモプラザ403	048-483-5117	
堀川 圭輔	599-0223	大阪府阪南市光陽台3丁目13-1	0724-71-4419	
川畑 智浩	812-0063	福岡県福岡市東区原田4-18-1 レオパレスHARADA II-113		

J P T A 会 員 諸 変 更 届

自宅・勤務先等の情報変更がある場合はこちらの用紙をご利用ください。

※

送信日：平成 20 年 月 日

※印は特に漏れのない様、必ずご記入ください。

事務局記入欄

確認日付	印

事務局記入欄

確認日付	印

※◆ 変更情報をJPTA NEWSに掲載しますか？
(どちらかを○で囲んでください)

掲載します / 掲載しません

※

会員番号

※

氏 名

◆自宅住所変更◆

自宅住所変更日：200 / /
(記入例) ⇒ 2006 / 06 / 05

自宅TEL)

自宅FAX)

自宅〒)

-

自宅住所 1)

マンション・ビル名等

自宅住所 2)

◆勤務先住所変更◆

勤務先変更日：200 / /

勤務先名称)

勤務先〒)

-

勤務先住所 1)

マンション・ビル名等

勤務先住所 2)

勤務先TEL)

勤務先FAX)

◆氏名変更◆

氏名変更日：200 / /

旧 姓)

新 姓)

フリガナ)

注意(1) 住所変更用紙は、FAX又は郵送にて変更を受付致します。 **FAX:03-5791-1966**

注意(2) 住所変更のJPTANEWS掲載に関しては、必ず上記項目にて○印をお願い致します。

《 JPTAニュースでは紙面広告を募集しています 》

〈 発行日 〉
1月、3月、5月、7月、9月、11月の各20日前後

〈 掲載面 〉
広報・企画推進委員会にお任せください。

〈 申込み 〉
随時受付

〈 問合せ 〉
事務局まで

〈 掲載料 〉

	1/6ページに付き	1ページ
公認企業	7,350円(税込)	31,500円(税込)
賛助企業	12,600円(〃)	52,500円(〃)
一 般	15,750円(〃)	63,000円(〃)
会 員	12,600円(〃)	52,500円(〃)

*人材募集コーナー：1件に付き、5,250円(税込) 1/6ページ程度

JPTA 公 認 企 業 ・ 公 認 商 品

会員は大いに利用し、生徒さん等関係者に薦めてください。

ラケット		プリンスラケット		ダイワ精工(株)
シューズ		プリンスシューズ		ダイワ精工(株)
ドリンク		ヴァーム		明治乳業(株)
ウェア		YONEX		ヨネックス(株)
ボール		JPTAオフィシャルテニスボール		ブリヂストンスポーツ(株)
ストリングス				(株)ゴーセン

JPTA 推 薦 企 業

(株)NIPPOコーポレーション
日本ナレッジ(株)
丸菱産業(株)

(株)NTT西日本一関西
スポーツサーフェス(株)

JPTA 賛 助 企 業

JPTAは下記の企業の賛助を受けています。

あいおい損害保険(株)
(株)ゴールドウイン
(株)ダンロップスポーツ
東京ウエルネス(株)

(株)ナイキジャパン
(株)ビー・シー・シー
(有)マルス
ミズノ(株)

(株)つま恋
(有)リックスコミュニケーションズ
日本プロテニスエンタープライズ(株)
有限責任中間法人カーディオテニスジャパン